

第5回 北区異次元交流ライブ

～報告書～

～プロローグ～

場 所 中崎町ホール
日 時 2016年2月25日(木)
18時30分～21時
参加人数 40団体 68名

団塊の世代が後期高齢者になる10年後、子どもの数は減少し続け、15歳から65歳の生産人口が減少し、高齢化と人口減少が同時に進みます。地域コミュニティを取り巻く様々な環境の変化によって、人と人とのつながりの希薄化や、地域活動の担い手不足など、地域の課題は多様化しています。課題解決が住民だけでは難しくなりつつある、今だからこそ、地域、企業、NPO、学校など様々な団体とのつながり「協働」がますます必要になるのではないのでしょうか。

第1部

- ・開催挨拶
- ・話題提供(まちづくり塾成果報告)
- ・参加者アピールタイム(15秒CM)

第2部

- ・分科会(20分×2回)
- ・グループ発表

北区まちづくりセンターからのご案内



～第1部～ まちづくり塾成果報告

「まちづくり塾2015 ナポレオンの村に続け! 1人ひとりが主役の地域活動」の成果発表。

2015年11月5日第0話から2016年2月10日第6話まで全7回を通して、地域・企業・NPO・学校など様々な分野から毎回約30名、54団体のべ242名の皆さんにご参加いただき開催いたしました。

「協働」とはどんなものなのかを感じていただきたい、また「企画」をつくることの楽しさやポイントをお伝えしたいと、1人ひとりの「強み」を考え、他者理解の難しさ、また「強み」を繋げることを参加者の皆さんと一緒に考えてきました。

第5話・第6話では参加者同士で話し合い北区の課題解決に向けた4つの企画を考えました。どうすれば、1人暮らしの高齢者の困りごとを解決できるか、若者と地域をどうつなげるのか、定年後を楽しむ方法は?また、高齢者から子どもまで皆が参加する災害訓練にするにはどうしたらいいのかを考えました。その解決方法に向け考えた企画を発表致しました。

楽しい企画が出来ましたのでぜひ「まちづくり塾2015」報告書をご覧ください。

第0話 「“地域を知る” から始めよう!!」

企業、団体、学校を対象とした、プレ企画

第1話 「地域貢献はじめました!!」

事例発表+意見交換会

第2話 いろはの「い」 「ストレングスの視点」

「自己紹介、強み出し協働ワークショップ」

第3話 いろはの「ろ」 「協力のダイナミズム」

「協働の必要性、過去～未来のデータ」

第4話 いろはの「は」 「共感のファンディング」

「伝達ワーク、クラウドファンディング体験」

第5話 「今、北区に必要なこと①」

企画を考えよう!

第6話 「今、北区に必要なこと②」

企画をブラッシュアップしよう!

～第2部～ 分科会

7つのテーマ「高齢者食事サービス」「ふれあい喫茶」「子育てサロン」
「いきいき百歳体操・脳活性化教室」「盆踊り」「敬老会」「広報活動」

企業、NPO、学校など様々な団体の方から、地域とつながりたいけれど「地域」のことがよくわからないもっと地域のことを知りたいとの声をいただき、第2部ではテーマを“地域の活動”として主な地域活動7つを選び分科会を行いました。

まず地域の現場で実際に活動されていらっしゃる方から、その活動がどういったものかを直接お話いただきました。活動内容を聞いた参加者からは、課題はありますか？などの質問がされました。そしてグループ内で感想や、課題解決についてのヒントやアイデアなどの意見交換が行われました。

参加者から「他の地域の活動を知ることができて良かった」「地域では、こんなにいろいろと活動しているんですね」「興味をもつきっかけになりました！」とお言葉をいただき、北区の地域の活動を知っていたけるとともに、熱気ある賑やかな時間となりました。



高齢者食事サービス～洛美地域～

女性会ボランティア手作りの食事がコーヒー付き1食300円。対象は地域の65歳以上の高齢者。ボランティアは当番制ではなく、手伝える人が自分の都合で参加し、食事する側も申し込みなしで来ることができる。そんな自由を大切にしている。小学生のボランティアも参加！食べながら楽しく話をすることで交流になり、いつも来る人が来ない時はどうしているのかを確認し、地域の高齢者の見守りになっている。メニューも高齢者がおいしく食べやすいよう工夫しており、年に1回経費をやりくりしてカニすきもあり。課題として男性の利用者が少なく、どうすれば参加できるか話し合った。食後に麻雀できるようにする、サービス側に男性を増やす、アルコール出すと男性は来るなど、今後の取り組みについての意見交換がされた。

ふれあい喫茶～堀川地域～

地域住民の交流を目的とし、地域の会館で開催されており、誰でも参加できる。コーヒー、ミックスジュース、あんみつなどの飲み物や軽食が1品100円。ケーキは120円で提供されている。夏はわらびもち、冬はぜんざいなど、季節にあわせてメニューを工夫。課題は、参加できるのが高齢者だけだと思う人が多いこと。また、女性は気軽に参加しているが、男性の参加者が少ないことも課題のひとつ。おっさんカフェなるものを開催してはどうかと、楽しい案もでていた。もっとたくさんの人に参加してもらいたいとの想いを受け、落語など催しを行い参加者を呼び込む、チラシをスーパーなどに貼ってもらい宣伝するなど、活動をどのように広報していけばよいかなどの話し合いがされた。

子育てサロン～豊崎東地域～

月に1回、0歳から3歳の子育て世代の交流・情報交換の場として「とよひが・うりぼうクラブ」を開催している。行事ごとにイベントを開催している中、特に好評なのは、豊崎東小学校5年生が歌を歌うなどプログラムを考え参加する七夕とクリスマス。特にクリスマスは大人気。校長先生がサンタになって登場！小学生と赤ちゃん、ママ達のふれあいの場になっている。課題はありますか？の質問には、この場に参加できないママ達をどう巻き込んでいくか、どのようにすれば情報を届けることができるかを問題としてあげていた。最近、ママ達にたくさんの情報を届けるためにホームページを開設。スタッフは、かわいい子ども達と触れ合える日々を楽しんで活動されていて、地域のママ達も気軽に心配事を聞いてもらえる癒しの場所となっている。

いきいき百歳体操・脳活性化教室～本庄地域～

「いきいき百歳体操」は、高齢者を対象に転倒しにくい体力づくりのために行う筋力運動。30分間DVDを見ながら「おもり」を手首や足首につけて行う。週1回の開催で毎回60人もの方が参加。スタート時の「おもり」はボランティアさんの手作り。さらに「身体を動かすだけではなく、認知症予防もできれば」という思いから、「脳活性化教室」を百歳体操の後に30分間合わせて開催することに。参加者からは、「どのようにそんなにたくさんの参加者を集めたのか？」などの質問がでた。口コミで広がったこと、敬老会にて発表の場を設けたことが参加者の意欲向上へとつながったことなどの話を聞くなど、活発な話し合いが行なわれた。最後に、地域活動者より「企業・団体の方へ楽器ができる人がいたら、ぜひ協力してほしい」と参加者へ呼びかけられた。

盆踊り～北天満地域～

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加があり、地域でも人気のある事業。たくさんの様々な人に参加してもらいたいと「納涼盆踊り」から名前を変え「北天満サマーフェスティバル」として開催。盆踊りだけではなく、フラダンス、沖縄民謡、ベリーダンスも取り入れて年々盛り上げている。今年の夏は、ブラジルサンバを呼びたいとのこと。2日間の開催で1000人もの方が参加。元北天満小学校で開催していて、芝生の上で盆踊りが踊ることができ砂埃がたたないのがメリット。課題は何かとの質問では、高齢化のため、若い人が少なくスタッフの人材が不足していること、北天満小学校が閉校になり統合化され、PTAとのつながりが希薄化したとのこと。PTAとの連携をとるなど、若い世代のとのつながりを考えていかなければいけないと課題についてお話された。

敬老会～本庄地域～

年に1度「敬老の日」に合わせて行われている。70歳以上の地域の高齢者を招き、演奏会やイベント等でお祝い、さらに金婚のご夫婦の表彰も行われる。70歳以上が約1,150人の大所帯の本庄地域は、人と人がふれあうことができる温かい町になることを願い、地域福祉に関わる様々な活動を行っている。そのひとつ「本庄敬老お祝い大会」では、子ども達ともふれあえる楽しい企画を考えて開催。豊崎本庄小学校5年生による合唱・合奏、豊崎中学校吹奏楽部による演奏が行われる。70歳以上の参加者はお祝いされるだけでなく、踊りを踊ったり歌を歌ったりと演芸大会に参加し、元気いっぱい「敬老会」を楽しんでいる。演芸大会は人気がありいつも申込みがたくさんあるので、もっと芸を披露する場所があれば良いのとのこと。また今後、地域の企業の参画もあれば嬉しいとの話もあった。

広報活動～菅北地域～

広報紙「Dear であ～かんぼく」5000部×年3回発行。広報委員会のメンバーは、仕事を持ち多忙なためSNSやfacebook等で情報を共有し、月に1回編集会議を開催している。印刷はウェブ入稿でパスワードを入れれば誰でも編集ができる等、時間を有効に使う工夫をしている。偏りのない記事であること、切り口を変え、テーマを決めて記事を書くこと、子どもの写真掲載への配慮や著作権も、常に気をつけている。参加者からは、「菅北の広報紙は、記録や報告だけでなく告知があることが良い」、「北区の地域広報紙が13紙もあることに驚いた」との声がある一方、地域間の情報共有・意見交換をする場がなく、今後そういった場を設けることが課題と話がでた。発表頂いたお二人からは、先進的なお話とともに、根底にある「地域を知ってもらいたい」という思いが伝わってきた。



～エピローグ～

地域活動にたずさわるとくさんの人。ボランティアとして活動に関わられています。あたたかい地域になれば、元気な地域になれば、とそれぞれに想いを持って活動されています。地域活動は、高齢者、若者、子どもなど様々な“人”のつながる場所です。参加者とボランティアスタッフ、参加者と参加者、ボランティアスタッフ同士。人と人とのつながりが、地域活動を支えています。

活動の様子を聞いていただく中で、参加者側から、困りごとはなんですか？課題はなんですか？との質問がありました。そこで解決策としてのアイデアや意見もできました。地域、企業、NPO、学校など様々な立場から、それぞれの「強み」を持つ“人”が集まれば、活動の幅はさらに広がり、地域活動の課題解決、また今後の北区の課題解決への道も見えてくるのではないかと思います。

今回の出会いが人と人のつながるきっかけ、そして「協働」へと続く“タマゴ”となれば嬉しいです。まちづくりセンターはこの“タマゴ”を温め「協働」が産まれる交流へと進めていきます。

次の機会もぜひご参加ください。



休憩時間に済美地域から参加者全員にあたたかい、おいしいコーヒーのサービスがありました。コーヒーカップに入ったコーヒー。地域で開催しているふれあい喫茶の雰囲気も感じていただきたいと紙コップではなくカップでちゃんと！そんな温かな気持ちの入ったコーヒーでした。済美地域の皆さま、本当にありがとうございました。

なお、今回お借りした地域が運営する「中崎町ホール」はどなたでもご利用可能です。

詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.nakazakichohall.com/>

お問合せ

北区まちづくりセンター
大阪市北区扇町 2-1-27 北区役所 3F

Tel 06-6809-1080
Fax 06-6809-1081

E-mail kitamachisen@dream.ocn.ne.jp
HP <http://kitamachisen.jimdo.com/>